

【社会】



<学習内容> 「日本の歴史」教科書「歴史編」

◆ 「**天皇中心のくにづくり**」（教科書 24～27 ページ）をもとに、**飛鳥時代**や**奈良時代**の様子について、それぞれ調べ、取組シートやノートにまとめよう。

ことば(教科書 P24)

- (1) **聖徳太子**は、20 才のときに**天皇**の政治を助ける役職につきました。**聖徳太子**が行ったことについて、教科書 24～25 ページを参考に、下の（ ）に言葉を入れてまとめてみよう。

- ・（ ）の子として生まれた。
- ・（ ）を定め、家柄いえがらに関係なく能力や功績こうせきで役人を取り立てた。
- ・政治を行う役人の心構えを示すために、（ ）を定めた。
- ・仏教をあつく信仰しんこうしていたため、（ ）などを建てて、仏教の教えを人々の間に広めようとした。

- (2) （教科書 26 ページ）**中大兄皇子**と**中臣鎌足**は、645 年に蘇我氏をたおし、天皇を中心とする国づくりを始めました（大化の改新たいか かいしん）。

- ①この 2 人の名前の読み方をひらがなで書きましよう。
- ②大化の改新では、中国の政治の制度を手本に、国のしくみを整備し、現代に続くあるものも初めて定められました。何が定められましたか。
※初めて定められたのが「大化」だよ。今は「令和」だね。

ことば(P27)

- (3) **律令**（教科書 27 ページ）について答えよう。

- ①律令とは何ですか。また、これにより人々が納めることになった税について調べ、まとめましよう。
- ②教科書 27 ページの資料④⑤から、どのようなことがわかりますか。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・飛鳥時代や奈良時代は、天皇制の始まりや都の整備、納税の始まりなど、現代社会につながるものが多くある時代と言えます。現代とのつながりを考えると歴史への興味が広がります。